



主催：沖縄県 子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課

運営：(一社) 沖縄県リハビリテーション専門職協会

沖
リ
専
協

市町村職員・地域包括支援センター職員向け研修会

要支援者を再び自立維持に戻す！ 注目の短期集中予防サービス

新しい取り組み リエイブルメントとは 沖縄県、沖縄県介護保険広域連合も注目！

あなたのまちで「要支援者等の生活」を自立させる仕組みを作ろう！

～リエイブルメントがキーポイント！～

講師：服部 真治氏 医療経済研究機構 政策推進部副部長 研究部主席研究員

13：25 主催者挨拶：沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課 地域ケア推進班

13：30 講演 90分 講師：服部 真治氏 **直接話が聞ける良いチャンスです！**

15：10 グループワーク ①リエイブルメントについて、もっと知りたいこと

②リエイブルメントを導入するにあたっての課題は何か

15：30 質疑応答：グループで出た質問に対する講師からの回答

15：50 閉会の挨拶：沖縄県リハビリテーション専門職協会会長

16：00 終了

- ・ワーク後の各々の質問を講師に届け回答して頂く。
- ・記載質問、所属記載なし。
- ・個別発表無くストレスなし。

日時：2023年12月19日（火）13：25～16：00

場所：アイム・ユニバース てだこホール 市民交流室

対象：市町村担当者、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、
ならびに PT・OT・ST・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職

申し込み URL：<https://forms.gle/UECF7bZhiEeLhrbx7>

■ 締切：2023年12月6日（水）までをお願いします。

■ 参加費：無料 対面研修会 ZOOM 配信はありません。

■ 問合せ：沖縄県リハビリテーション専門職協会 okiresen@gmail.com

■ 研修会の内容は、録画し再学習用として活用させていただきます。（受講者は映りません）



リエイブルメント・サービスとは

リエイブルメント・サービスを短期集中予防サービス（C型サービス）として実施する 山口県防府市では、新規要支援者・事業対象者の**6割以上が専門職サービスを利用しない、いわゆる「卒業」状態**となり、そうでない方の多くも「できることが増えた」「活動的になった」など、大きな成果をあげています。

その成果が地域にもたらす効果は誰もが想像できる通りです。防府市では要支援者・事業対象者の**サービス費用が20%削減**され、**要支援認定率は低下し、要介護1の認定者数も減少**傾向にあります。

地域支援事業費の上限額を超えている自治体や、軽度者の継続的なサービス利用が困難な地域、介護人材不足が課題の自治体においては、このサービスが地域課題解決に大きく役立つはずです。

このサービスは、「身体に触れることなく」「家にはない器具を使わず」に行うサービスで、「動機づけ面談」を中心に、週1回計12回実施するサービスです。このサービスによって「生活しづらさを解消」「セルフマネジメントの獲得」「地域資源を活用した活動的な生活」を目指します。

「できないこと」に着目し「してあげる」という「サービス提供」を原則にした支援から、「できること・したいこと」に着目し、本人視点を重視した「ウェルビーイング支援」へ高齢者支援のパラダイムをシフトさせる取り組みであり、介護人材不足・事業費の増大という地域課題を解決する取り組みです。

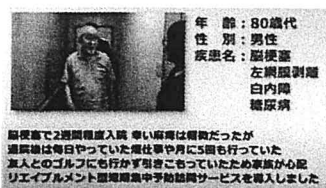
リエイブルメント・サービスのエビデンス

- ・ユーザーの63%が 12 週間以内にサービス不要な状態へ（英国国立医療技術評価機構）
 - ・8～10週間で約65%が在宅ケアが不要に（オーストラリア）
 - ・改善可能と判定された人の60%が訪問介護看護を必要としない状態へ（デンマーク）
- 国内においても、大阪府寝屋川市における調査で同様の成果を出しています。

資料等

左：「The リエイブルメント」
（発行）社会保険出版社

右：「リエイブルメントで元気な自分を取り戻す」
国際長寿センター



80代の男性が脳梗塞による入院後、閉じこもり気味だったところから3ヵ月12回のサービスにより役割を取り戻し、好きなゴルフに復帰するまでの取り組みに密着

YouTube配信中



医療経済研究機構
Institute for Health Economics and Policy

（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 国際長寿センター

ILC
ILC-Japan